

首都直下地震防災・減災特別プロジェクト 平成20年度成果報告会

1. 目的

首都直下地震防災・減災特別プロジェクトは、サブプロジェクト①から③で構成され、それらの取り扱う分野は理学、工学、社会科学および人文科学まで広範に及びます。しかし、その一方で当プロジェクトは、首都直下地震時の「被害を軽減する」ことを最終目標とし、プロジェクトとして統一された研究成果が強く求められています。

そこで、これまでの研究活動による成果の取りまとめを行い、プロジェクトの進捗状況および全体の方向性の確認を行うため、平成20年度成果報告会を開催します。

さらに、報告会での議論を通じ、サブプロジェクト間の情報交換や相互理解を促進し、有機的なサブプロジェクト連携とプロジェクト参加者による全体目標の再確認を行い、今後のプロジェクトを推進していきます。

2. 開催日程・会場

日時：2009年3月2日（月） 10:00 ～ 16:30

会場：東京大学 山上会館 大会議室

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 / tel 03-3818-3008

3. 参加対象者

文部科学省本省関係者より10名程度の参加を予定し、また、各サブプロより10～20名程度の参加を想定しています。

4. プログラム

10:00	開会（司会：宮川防災科学技術推進室長補佐）	
10:00 ～ 10:10	開会挨拶	
	東京工業大学教授、プロジェクトディレクター	本藏義守
	文部科学省大臣官房審議官	田中正朗

第1部 平成20年度成果報告会

10:10 ～ 11:20	サブプロ③ 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究 司会：中島 正愛 センター長 テーマ：被害を軽減する組織と情報とは（仮）
11:30 ～ 12:40	サブプロ② 都市施設の耐震性評価・機能確保に関する研究 司会：中林 一樹 教授（首都大学東京、予定） テーマ：被害を軽減する都市施設・建物の条件とは（仮）
12:40 ～ 13:40	休憩（昼食）
13:40 ～ 14:50	サブプロ① 首都圏でのプレート構造調査、震源断層モデル等の構築等

司 会：林 春男 教授

テーマ：被害軽減に貢献できる地震予測とは（仮）

※ 各報告とも発表40分、質疑応答30分とします。質疑応答の冒頭で、各サブプロジェクトから5分ずつ発表に対して意見を述べていただきます。

※ 発表者は各サブプロジェクト3名以内とします。

14:50 ~ 15:00 休 憩（会場準備）

第2部 パネルディスカッション

15:00 ~ 16:20 パネルディスカッション

「サブプロ連携で導く“被害を軽減する”研究成果とは」

司会（モデレータ） 本藏 義守 プロジェクトディレクター

パネリスト 平田 直 教授

パネリスト 中島 正愛 センター長

パネリスト 林 春男 教授

パネリスト 渡邊 淳 防災科学技術推進室長（文科省）

16:20 ~ 16:30 プロジェクトディレクターによる総括

16:30 閉会

5. その他

- ・成果報告会にご参加される方のお名前、所属を各サブプロジェクトごとにまとめていただき、2/23（月）までにお知らせ下さい。
- ・その他お問い合わせは下記の方までお願いいたします。

連絡先：文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課
防災科学技術推進室 渡邊、宮川、小林
〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2
TEL 03-6734-4134
FAX 03-6734-4139
E-mail m-kbys@mext.go.jp

